

国語の学習

1 学習のねらい

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成します。伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにします。国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てます。

2 主な学習内容

(「教育に関する3つの達成目標」は太字)

	1 年 生	2 年 生	3 年 生
通年	「教育に関する3つの達成目標」に向けて、読むこと・書くことの基礎基本を身につけるための取り組み (単元別の漢字練習・教科書の音読・古典の暗記など)		
1 学期	【読む・詩歌】ふしぎ 【読む】 音を追いかけて 【書く】 体験したことを文章にする 【話す聞く】 お気に入りの一品を紹介する 【読む】 笑顔という魔法 【話す聞く】 フリップを用いて報告する 言葉の小窓1 日本語の音声 漢字の広場1 漢字の部首 漢字の練習1 【読書】 ベンチ 【メディアと表現】 写真と言葉が生み出す世界 【書く】 芸術作品の鑑賞文を書く 文法の小窓1 言葉の単位 硬筆	【読む・詩歌】 虹の足 【話す聞く】 質問する力をつける 【読む】 タオル 【話す聞く】 図表を用いて提案する 言葉の小窓1 方言と共通語 【読む】 日本の花火の楽しみ 【書く】 新聞の投書記事を書く 漢字の広場1 まちがえやすい漢字 言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉 【読書】 夢を眺ぶ 【読む】 物語を読み解く 文法の小窓1 活用のない自立語 漢字の広場2 漢字の成り立ち 硬筆	【読む・詩歌】 春に 【話す聞く】 一言でまとめ一言から広げる 【読む】 立ってくる春 漢字の練習1 【読む】 私 【書く】 広告を批評する 漢字の広場1 呉音・漢音・唐音 【読む】 「新しい博物学」の時代 漢字の練習2 【話す聞く】 話を聞いて自分の表現に生かす 漢字の広場2 熟字訓 言葉の小窓1 和語・漢語・外来語 【読む】 無言館の青春 情報を編集するしかけ 言葉の小窓2 慣用語・ことわざ 文法の小窓1 活用のない付属語 硬筆
2 学期	【詩歌】 河童と蛙 【読む】 オツベルと象 【書く】 行事などの案内文を書く 漢字の広場2 画数と活字の字体 言葉の小窓2 日本語の文字 【言語】 古典の扉を開く 【言語】 物語の始まり 【言語】 故事成語 【文学】 蜘蛛の糸 漢字の練習2 【読む】 電子レンジの発想 【読む】 言葉のゆれを考える 【読む】 花のかたちに秘められたふしぎ 【話す聞く】 友達のスピーチを聞く 【書く】 意見文を読み合う 漢字の広場3 漢字の音と訓 文法の小窓2 文の成分 書き初め	【読む】 近代の短歌 【読む】 夏の葬列 【書く】 写真から物語を創作する 漢字の練習1 漢字の広場3 漢字の多義性 【言語】 教盛の最期 【言語】 随筆の味わい 【言語】 二千五百年前からのメッセージ 【書く】 お礼の手紙を書く 言葉の小窓3 敬語 【読書】 坊っちゃん 【読む】 水の山 富士山 【読む】 ガイアの知性 漢字の練習2 【話す聞く】 話を聞いて自分の考えと比べる 【書く】 意見文を読み合う 文法の小窓2 活用のある自立語 書き初め	【読む】 歴史は失われた過去か 【読む】 文化としての科学技術 【書く】 図表などの資料から文章を書く 言葉の小窓3 敬語(社会の中での活用) 文法の小窓2 活用のある付属語 漢字の練習3 【言語】 旅への思い 【言語】 和歌の調べ 【書く】 和歌の鑑賞文を書く 【読む】 風景と心情 【読書】 最後の一句 漢字の練習4 漢字の広場3 異字同訓 【読む】 近代の俳句 【詩歌】 初恋 【読む】 故郷 【書く】 自己PR文を読み合う 【話す聞く】 スピーチで学びを振り返る 漢字の広場4 四字熟語 書き初め
3	【読む】 言葉がつなぐ世界遺産 漢字の練習3 【書く】 図表を用いて報告する 【詩歌】 四季の詩	【読む】 学ぶ力 【書く】 四コマ漫画から意見文を書く 言葉の小窓4 類義語・対義語・多義語・同音語	【話す聞く】 課題を解決するために話し合う 【話す聞く】 「対話力」とは何か 【書く】 自分の作品集をつくる

学 期	文法の小窓3単語のいろいろ 漢字の練習4 漢字の広場4熟語の構成 【文学】少年の日の思い出 【話す聞く】 アイデアを出して話し合う	漢字の練習3 【読む】レモン哀歌 文法の小窓3付属語のいろいろ 漢字の広場4 同音の漢字 【読む】走れメロス 【話す聞く】役割を決めて討論する 漢字の練習4	【読書】パースデイ・ガール 【読む】花を贈る 【読む】自分自身に

3 学習の仕方

- (1) 授業道具を忘れずに用意しましょう。
教科書、ノート、ワークのほかに国語辞典や国語便覧なども使います。
- (2) 授業に積極的に取り組みましょう。
読んだり、考えたり、書いたり、意見を述べ合ったりと、いろいろな活動の場があります。自分から進んで取り組みましょう。
- (3) 家庭学習を大切に。
予習することで次の授業のヒントが得られ、復習することで理解が深まります。教科書を読むことや配られたプリントの整理、ワークに取り組むことも大切な家庭学習になります。

4 評価・評定

- (1) 観点別評価について

観 点	A B C の 基 準
国語に関する関心・意欲・態度	A: 授業道具や宿題の忘れ物がなく、提出物も期限を守ってきちんと取り組み、すべて提出している生徒。 授業中の発言・発表が活発な生徒。 C: 提出物が全く、またはほとんどない生徒。授業に対する姿勢が、健全でない生徒。
聞くこと・話すこと	A: スピーチや授業での発表・「聞くこと」に関する事項が、十分満足できる生徒 C: スピーチや授業での発表・「聞くこと」に関する事項で、さらに努力を要する生徒。
書くこと	A: 「書くこと」に関する事項の成績が、とても良い生徒。 C: 「書くこと」に関する事項で、さらに努力を要する生徒。
読むこと	A: 「読むこと」に関する事項の成績が、とても良い生徒。 C: 「読むこと」に関する事項で、さらに努力を要する生徒。
言語に関する知識・理解・技能	A: 「言語」に関する事項の成績が、とても良い生徒。また書写作品の成績が、とても良い生徒。 C: 「言語」に関する事項で、さらに努力を要する生徒。

*各観点とも、BはAとCの中間の得点です。

- (2) 評定について

評定は、各観点の成績を総合したものと考え、下の表のようになります。

A,B,Cの分布	換算点	評定
AAAAA	15	5
AAAAB	14	4
AAABB . AAAAC	13	
AAABC AABBB	12	3
AAACC AABBC AB BBB	11	
AABCC ABBBC BB BBB	10	
AACCC ABBCC BB BBC	9	
ABCCC BB BCC	8	2
ACCCC BB CCC	7	
BCCCC	6	
CCCCC	5	1

換算点 (A…3点 B…2点 C…1点)